

平成19年度
第2期 熊毛地区地域審議会
会 議 録

日 時：平成19年9月26日（水）

場 所：周南市熊毛総合支所

【会 議 次 第】

1 開会

(1) 熊毛総合支所長あいさつ

(2) 熊毛地区地域審議会 会長あいさつ

2 議事

(1) 熊毛地区における水道基盤整備の進捗状況について

(2) (仮称)「コアプラザ熊毛」整備事業の進捗状況について

3 その他

4 閉会

総合政策部長あいさつ

平成19年度 第2期熊毛地区地域審議会 会議録

日時 平成19年9月26日(水) 13時40分～15時30分
場所 周南市熊毛総合支所東庁舎2階会議室
出席者 ・委員 8名 (欠席7名)
徳本 豊(会長)、久野 利夫、大東 英夫、片山 靖子、小松 峯子、
西村 照子、村川 哲夫、丸山 和之
・事務局 7名
総合政策部長 山下敏彦、企画課長補佐 原田義司、
熊毛総合支所長 木谷教造、次長 石光秀雄、市民生活課長 守田千秋、
地域政策課長補佐 柳昭行、同課員 中村悟

会議議事録

1 開会

2 市民憲章唱和

3 議事(要約)

会長 我々の任期も9月末で満了となり、本日が第2期最後の審議会となります。地域の皆様方に関心の高いコアプラザと水問題について、昨年建議し、市長からご回答をいただきましたが、残念ながら具体性に欠けるものでした。我々としては不本意なものでしたが、総合支所と本庁の職員により検討チームが立ち上げられ、具体的な検討をしていくという報告を受けておりました。

本日は、市のこれまでの検討状況について、スクリーン上映によりご報告があるようですが、我々にとっては大きな朗報でして、大きく前進をしたと私は思っています。本日は最後の審議会で、若干先の見えた話ができることはありがたく、期待をするものであります。十分ご審議をいただきたいと思います。

事務局 熊毛地区における水道基盤整備の進捗状況について説明

「コアプラザ熊毛」の進捗状況について、プロジェクターで投影し説明

委員 コアプラザについてですが、行政としては安くできていい案だと思われるのですが、私は、これでは熊毛に「コアプラザ」を作ったという気がしません。総合支所がそのままコアプラザになったという気がします。やっぱり、熊毛におけるランドマーク的なものが必要だと思います。

事務局 これまでの市役所は、住民票を取りに行くなど、特別な用事があって行く場所で、一般市民の皆さんは来づらいイメージがあったと思います。コアプラザとして、子どもからお年寄りまで、幅広く市民の皆さんが広く集うことのできる施設とすることで、気持ちの上での熊毛地区のランドマークになるのではないのでしょうか。

また、建物だけでなく、敷地内に市民の皆さんがちょっと休憩できるような場も整備したいと思います。この敷地全体をコアプラザとして整備することで、他にあまり例を見ない、今までの市役所にはなかったものになると思っています。

委員 私はやっぱり見た目が大事だと思います。外から見た時、単に図書館ができただけ、と思われぬようなものにする必要があると思います。熊毛地区のランドマークになるようなものにしていきたい。

委員 視覚的にも熊毛総合支所の敷地全体が、従来の市役所とは違う、熊毛地区のランドマークになるように考えていきたいと思います。

会長 私どもの建議をベースに、市の検討チームで検討されたということで、まだまだ流動的でありますし、今後、地域審議会とも協議しながら、この構想を進めていきたいと思っています。

事務局 今年4月1日から、市では市民参画条例を施行し、公共的な施設の建設に当たっては、市民の皆さんと一緒に取り組んでいく仕組みを作っております。「コアプラザ熊毛」は市民の皆さんが利用する施設ですので、機能やデザインを含め、例えば地域審議会や市民に向けた説明会等で、しっかりご意見をお聞きし、事業に反映させて進めていきたいと思っております。

総合支所の機能として必要となる行政スペースは流動的であり、今後の検討課題です。

委員 コアプラザについては、市で検討チームを作られてかなり熱心に検討されたようで、先ほどの説明内容は非常にいいんじゃないかと思えます。ただ、リーディングプロジェクトには上水の基盤整備も位置づけられておりますので、この問題も、市に検討チームを作ってほしかったと思えます。

現在、厚生労働省と協議中ということで、なかなか時間がかかるのですが、上水問題の進捗状況については広報や熊毛地区住民の説明会などでの情報提供がされているのでしょうか。

事務局 今までのところ、市の広報には載せておりません。この問題は周南市の意向だけでは進まず、ポイントは中山川ダムの水利権分割の考え方を、厚生労働省が認めてくれるかどうかということにあります。認められないということになれば、現在、市が検討している事業は進まなくなりますので、今の段階では、市として市民の皆さんに責任ある説明ができないため、現在は国の回答待ちとなっております。

委員 国は首相や大臣も替わっております。ただ一方的に、国からの回答を待つだけでなく、こちらからも積極的に情報を得る働きかけが必要ではないかと思えます。

委員 簡易水道の水道管の交換は支障が無いように、どんどん交換していただくようお願いしたいと思います。一方、従来から井戸水に頼っている地区については、現在の環境変化の時代に、井戸水の水質や水量がいつどうなるか分からないので、早く上水を引いてほしいという要望があります。熊毛地区の皆さんが目を向けているということをしかり理解してもらって、できるだけ情報を行政と市民が共有して、進めていきたいと思えます。

会長 水問題検討部会では、水問題の情報提供をしてほしいということも建議しました。水道基盤整備事業の時期については情報が錯綜しており、加えて住民の皆さんの中には不安を抱えているのも事実だと思われれます。簡単でもいいから、地域住民に情報

提供をしていくことで、不安も解消され、民声も収まると思います。この問題は周南市の中でも熊毛地区独自の問題でありますので、よろしくご配慮いただきたいと思います。

事務局 県を通じて、少しでも早く国の返事がいただけるよう要望していきたいと思っています。

委員 「コアプラザ熊毛」の検討部会で協議した機能的なものは、ほとんど網羅されており、うまくまとめられていると思います。図書館の移設も掲げられているのはすばらしく、コアプラザの象徴的なものになるのではないかと思います。ぜひ図書館を熊毛地区の文化的なもの、象徴的なものとして位置付け、図書館を中心としたコアプラザの建設にご尽力いただきたいと思います。

会長 コアプラザについては、現在事務局で検討されているものは、検討部会で審議されたものがほぼ網羅されていると思います。ハード的な面で若干貧弱かな、とも思われますが、全体的に考えて、ソフト面をもう少し充実させていければいいのではないかと思います。また、図書館の建設が掲げられており、これにはお金もかかります。今後とも図書館については充実させていく方向で、職員の検討チームで知恵を絞っていただきたいと思います。

委員 行政スペースが狭められているようにも思いますが、大丈夫ですか。

事務局 職員にも正規や嘱託などありますが、職員と地域住民の方々との関わりが行政サービスの基本であり、総合支所の機能強化という点では、まだまだ流動的なところがあると思われまます。また、執務室と市民が利用するスペースは完全に分離される方が一番望ましいと思います。

また、たとえば市民活動支援センターとして、紙折り機、印刷機などの機械や団体事務局のメールボックス、各種団体の事務用品等を保管する場所、ワーキングスペース等を確保したいと思っております。そういうものを活用しソフト面を充実させていくことで、コアプラザに人が集まるのではないかと検討チームでも検討しております。

委員 建物という箱のハードと、その中身となるソフトの両面で、すべて網羅されたかといえば、若干ケチっているという感想です。こういう施設にはスペースとして、一見無駄と思えるようなものもいると思います。無駄なようで無駄でない、ということもあります。そうしたことから考えますと、機能としてのそれぞれのスペースがぎりぎりになっている感があり、物置などの収納スペースが大丈夫か心配です。

また、図書館との一体的な通路をどうするかということも気になります。より検討を加えて、いいものにしてください。

委員 まだまだ検討に時間がかかると思われますので、時々には地域審議会にも情報提供をしていただき、意見を聞いて成案に向けて進めていただきたいと思います。

委員 建設に向けてのスケジュールは、厳しいのではないですか。

事務局 今後、議会や住民の皆様への説明などが大きな仕事となります。地域審議会の皆様方もこの計画に参画していただいておりますので、委員を終わられましても、地域の皆様のご理解をいただき意見をまとめていくことに、ご協力をお願いしたいと思います。

4 その他（任期満了にあたって次期委員に託すこと）

委員 合併して5年近くになりますが、一部事務組合について、合併後一定の期間で周南市に統合するという話だったと思いますが、市民には伝わってきません。現状と、今後どのように進んでいくのか教えていただきたいと思います。

委員 2年間勉強させていただき、大変お世話になりました。コアプラザの検討についても、初めはどうなるだろうと不安を持っておりましたが、事務局の説明を聞いて、たいへんいいものを見せていただいたと思っております。これが本当に実現するなら、地域の皆さんも喜ばれると思います。ただ、これまでの施設は、できあがってみると例えば流し台にナベが入らなかったりしています。使い勝手のいいものにしていただくため、次期委員さんにはしっかり見守っていただきたいと思います。

委員 自分は市民参画条例の検討委員会にも参加させていただいています。いくらでもいい条例はできますが、その後、どう進めていくかが大事なことです。市民と行政が一緒になって、共同でまちづくりをすすめていく、ということが大切です。昔のように行政に何でも頼んだらいいという時代ではなくなりました。市民も行政も勉強し、本当にそれぞれの地区に何が大切なのか、必要なのか、現委員さんもしっかり意見を述べ、次の委員さんに申し送り、協力してやっていくということが必要だと思えます。熊毛や鹿野も都市部に負けてはいけないので、しっかりがんばらないといけないと思っています。市長も替わられて、しっかり周辺部の地域にも目を向けていただいて、行政と市民がお互いに考えて取り組んでいきたいと思っています。

委員 私もたくさんのごことを勉強させていただきました。委員一人ひとりの思いが、少しでもコアプラザの中に採り入れられたらいいなと思います。

私たちの周りにも、地区社協やコミュニティなど、これまでと違った組織作りがどんどん入ってきています。今までは行政任せで、やっていただけるのが当然と思っていたことが、私たちも参画していかないといけないということを、最近実感してきています。図書館やコアプラザがそうした地域活動の拠点になるような、すばらしい施設になってほしいし、これからもお役に立てればいいなと思っています。

委員 第1期審議会の建議を見させていただき、第2期でどんなテーマで検討するかを考えるにあたり、いろいろな地域の課題がある中で、私はコアプラザー本で提案させていただきました。何よりも熊毛地区が広域合併の中で埋没していかないようにするためには、読んで字のごとく熊毛地区に「コア」となる施設が必要だと思えました。第2期の建議で、コアプラザ実現の足がかりができたように思います。これは、審議会の検討部会でのチームワークやご努力の賜物であり、敬意を表したいと思います。第3期の審議会では、これをよりよいものを実現していくために、一段とパワーアップしていただきたいと思っています。

委員 コアプラザについては、機能的にはかなりいいものが入っていると思います。今後は、大きな骨組みができたものに飾り付けをしていかななくてはならないと思います。今、特に人と人のつながりが無くなっている中で、やはりハード面だけでなく、ソフト面の充実が必要です。コアプラザもそれが目的ですが、それ以上にこの地域の各団体が

公民館などと連携をして進めていかなければいけないと思います。また、お金をかけなくてもいいものができるように、お願いしたいと思います。

委員 私たちの活動拠点は「農村婦人の家」でしたが、現在施設が廃止されておりまして、消費者との交流ができる場所を望んでいました。コアプラザには市民が交流できる場所があるようですので、いろいろな面で協力していけたらと思います

会長 4年間または2年間、皆様にはたいへんお世話になりました。皆様方には献身的にお取り組みをいただきまして、心からお礼を申し上げたいと思います。なにぶん会長として不手際でございまして、十分な成果を収める事ができず、非常に残念に思い、皆様にお詫び申し上げます。特に4年間で印象深く思った事は、地域審議会にコアプラザ検討部会を設置し、非常に詳細に小さい事まで検討されたことであります。

コアプラザの検討は行政任せでなく、検討部会での詳細な検討がベースとなって、市の検討チームで検討されました。さきほど、流し台にナベが入らないという話がありましたが、コアプラザにはそうしたことはないと思っております。ぜひコアプラザの検討には、今後も地域審議会等の意見を取り入れていただき、市民と行政が力を合わせていいものを作っていただくようお願いしたいと思います。外見は別にして、外部から視察があって評価されるようなものにしていくことで、地域住民からも喜ばれるものとなります。来期の審議会においても、いろいろな意見を建議していただいて、りっぱなものになりますように、ご努力いただきたいと思います。

5 閉 会

総合政策部長あいさつ